

那岐地区 1 / 0 村おこしビジョン策定

サブ・ディレクター 古川 義秀

1. 事業主体

那岐地区地域活性化検討会（八頭郡智頭町）

2. 経緯

「とっとり総研地域連携事業」の公募に応募され、事業審査の結果、事業採択されたもの。

3. 事業概要等

智頭町那岐地区の住民自らが地域の現状を認識し、新たな発想による地域の自立を目指すため、同地区に設置された那岐地区地域活性化検討会において、「那岐地区 1 / 0 村おこしビジョン」の策定を図ること。

とっとり総研は、アドバイザーとして参画し、地域活性化ビジョン作成手順の説明や、検討内容に対して意見、助言等を行った。

4. 活動実績

- H22. 7. 20 那岐地区地域活性化検討会において、「地域の課題・問題点（原因）」のうち既に産業、教育・文化、生活、交通、観光、福祉の分野の検討（4 / 13、5 / 19）を始めていたため、関係者と事業の進捗状況及び今後の進め方について確認
- H22. 8. 9 第 6 回那岐地区地域活性化検討会、参加。「地域の課題・問題点（原因）」のうち環境、防災、その他の分野を検討
- H22. 8. 22 第 7 回那岐地区地域活性化検討会、参加。同検討会が鳥取県八頭総合事務所が主催の「ファシリテーションを活用した地域づくり実践講座」を活用することとなったため、同講座の中で「地域の課題・問題点（原因）」のうち結婚・少子化の分野を検討
- H22. 9. 17 ビジョン策定に当たり、那岐地区で最も知られる那岐山について、地域資源としてどのような魅力があるのか調査するため、日本山岳会会員及び日本自然保護協会自然観察指導員である森田富雄氏の協力のもと、那岐山に登頂。
- H22. 10. 28 第 8 回那岐地区地域活性化検討会、参加。とっとり総研から地域活性化ビジョン策定の手順等について説明。その後、検討会におけるこれまでの協議結果を基に、ビジョンの柱を設定することを申し合わせる。
- H22. 11. 8 第 9 回那岐地区地域活性化検討会、不参加。ただし、事前に関係者とビジョン案を検討し提示した。ビジョンの柱、地区振興協議会の正式名称「いざなぎ振興協議会」、各部会の名称が決定。
- H22. 11. 29 第10回那岐地区地域活性化検討会、参加。那岐地区内の各関係機関への説明状況を確認。「いざなぎ振興協議会」の目的、方向性、組織について検討し

- 決定。
- H22. 12～2 那岐地区1/0村おこしビジョンの完成に向け、那岐地区地域活性化検討会において、適宜、地元住民への説明を行うとともに策定作業を進める。
- H23. 2. 19 いざなぎ振興協議会（那岐地区振興協議会）設立総会
- H23. 3. 6 智頭町からいざなぎ振興協議会に「日本1/0村おこし運動」に係る認定書交付

5. 活動成果

智頭町那岐地区の各分野の代表者からなる那岐地区地域活性化検討会に参加し、意見・助言を行い、同地区の今後5年間の方向性を定める「那岐地区1/0村おこしビジョン」の策定に寄与した。当初、同ビジョンの策定以外にも「地域経営ビジネスモデルの策定支援」等の要望があったが、これらは同ビジョンを検討していく中で、そうした気運、具体案が出ればというものであり、実際には、同ビジョンの策定に時間を要し、そこまでには至らなかった。

また、本事業を通じて、地元住民と密接な関わりができたことにより、今後、地域活性化策のための実証実験等が実施できる準備ができた。

6. 課題等

今後、新たに設置される「いざなぎ振興協議会」において、「那岐地区1/0村おこしビジョン」が絵に描いた餅とならないよう実効性のある活動案を検討していく必要がある。とっとり総研の関わりは、「那岐地区1/0村おこしビジョン」策定までであるが、今後も那岐地区の活性化に向けた動きを注視していくことが必要である。